

年号・元号一覧 制作>熊本国府高等学校パソコン同好会(最終更新:2010/01/05)

番号	時代	年号	よみがな	西 暦	改元日	備 考
1	飛鳥時代	大化	たいか	645～650	2024/6/19	大化元年(645)大化の改新
2		白雉	はくち	650～654	2024/2/15	白雉の後、朱鳥まで年号なし
3		朱鳥	しゅちょう(すちょう)	686	2024/7/20	1年だけで、大宝まで年号なし
4		大宝	たいほう(だいほう)	701～704	2024/3/21	大宝律令
5		慶雲	けいうん(きょううん)	704～708	2024/5/10	
6		和銅	わどう	708～715	2024/1/11	和同3年(710)元明天皇が平城京に遷都
7	奈良時代	靈龜	れいき	715～717	2024/9/2	
8		養老	ようろう	717～724	#####	
9		神龜	じんき	724～729	2024/2/4	
10		天平	てんぴょう(てんぴょう)	729～749	2024/8/5	<a href="#">天平9年(737)長田王没?</a>
11		天平感宝	てんぴょうかんぼう	749	2024/4/14	天平を「てんぴょう」とも
12		天平勝宝	てんぴょうしょうぼう	749～757	2024/7/2	天平を「てんぴょう」とも
13		天平宝字	てんぴょうほうじ	757～765	2024/8/18	天平を「てんぴょう」とも
14		天平神護	てんぴょうしんご	765～767	2024/1/7	天平を「てんぴょう」とも
15		神護景雲	しんごけいうん	767～770	2024/8/16	
16		宝龜	ほうき	770～781	2024/10/1	
17		天応	てんおう	781～782	2024/1/1	
18		延暦	えんりやく	782～806	2024/8/19	延暦13年(794)桓武天皇が平安京へ遷都
19	平安時代	大同	だいてう	806～810	2024/5/18	
20		弘仁	こうにん	810～824	2024/9/19	
21		天長	てんちょう	824～834	2024/1/5	
22		承和	じょうわ(しょうわ)	834～848	2024/1/3	「そうわ」とも
23		嘉祥	かしょう(かじょう)	848～851	2024/6/13	
24		仁寿	にんじゆ	851～854	2024/4/28	
25		斎衡	さいこう	854～857	#####	
26		天安	てんあん(てんなん)	857～859	2024/2/21	
27		貞観	じょうがん	859～877	2024/4/15	
28		元慶	がんぎょう(げんけい)	877～885	2024/4/16	<a href="#">「がんきょう」とも、猿丸太夫?</a>
29		仁和	にんな(じんな)	885～889	2024/2/21	
30		寛平	かんぴょう(かんべい)	889～898	2024/4/27	「かんべい」「かんへい」とも
31		昌泰	しょうたい	898～901	2024/4/26	
32		延喜	えんぎ	901～923	2024/7/15	
33		延長	えんちょう	923～931	閏4/11	
34		承平	じょうへい(しょうへい)	931～938	2024/4/26	
35		天慶	てんぎょう(てんきょう)	938～947	2024/5/22	<a href="#">天慶4年(941)藤原純友の乱(檜垣の媼)</a>
36		天曆	てんりやく(てんれき)	947～957	2024/4/22	
37		天徳	てんとく	957～961	#####	
38		応和	おうわ	961～964	2024/2/16	
39		康保	こうほう	964～968	2024/7/10	
40		安和	あんな(あんわ)	968～970	2024/8/13	
41		天禄	てんろく	970～973	2024/3/25	
42		天延	てんえん	973～976	#####	
43		貞元	じょうげん(ていげん)	976～978	2024/7/13	
44		天元	てんげん	978～983	#####	
45		永観	えいかん	983～985	2024/4/15	
46		寛和	かんな(かんわ)	985～987	2024/4/27	
47		永延	えいえん(ようえん)	987～989	2024/4/5	

48	永祚	えいそ	989~990	2024/8/8	
49	正暦	しょうりやく(じょうりやく)	990~995	2024/11/7	「しょうれき」とも
50	長徳	ちょうとく	995~999	2024/2/22	
51	長保	ちょうほう	999~1004	2024/1/13	
52	寛弘	かんこう	1004~1012	2024/7/20	
53	長和	ちょうわ	1012~1017	#####	
54	寛仁	かんにん	1017~1021	2024/4/23	
55	治安	じあん(ちあん)	1021~1024	2024/2/2	
56	万寿	まんじゅ	1024~1028	2024/7/13	
57	長元	ちょうげん	1028~1037	2024/7/25	
58	長暦	ちょうりやく(ちょうれき)	1037~1040	2024/4/21	
59	長久	ちょうきゅう	1040~1044	#####	
60	寛徳	かんとく	1044~1046	#####	
61	永承	えいしょう(えいじょう)	1046~1053	2024/4/14	「ようじょう」とも
62	天喜	てんぎ(てんき)	1053~1058	2024/1/11	
63	康平	こうへい	1058~1065	2024/8/29	
64	治暦	じりやく(ちりやく)	1065~1069	2024/8/2	
65	延久	えんきゅう	1069~1074	2024/4/13	
66	承保	じょうほう(しょうほう)	1074~1077	2024/8/23	
67	承暦	じょうりやく(しょうりやく)	1077~1081	#####	「しょうれき」とも
68	永保	えいほう	1081~1084	2024/2/10	
69	応徳	おうとく	1084~1087	2024/2/7	
70	寛治	かんじ	1087~1094	2024/4/7	
71	嘉保	かほう	1094~1096	#####	
72	永長	えいちょう(ようちょう)	1096~1097	#####	
73	承德	じょうとく(しょうとく)	1097~1099	#####	
74	康和	こうわ	1099~1104	2024/8/28	
75	長治	ちょうじ	1104~1106	2024/2/10	
76	嘉承	かじょう(かしょう)	1106~1108	2024/4/9	「かそう」とも
77	天仁	てんにん	1108~1110	2024/8/3	
78	天永	てんえい	1110~1113	2024/7/13	
79	永久	えいきゅう	1113~1118	2024/7/13	
80	元永	げんえい	1118~1120	2024/4/3	
81	保安	ほうあん	1120~1124	2024/4/10	
82	天治	てんじ	1124~1126	2024/4/3	
83	大治	だいじ(たいじ)	1126~1131	2024/1/22	
84	天承	てんしょう(てんじょう)	1131~1132	2024/1/29	
85	長承	ちょうしょう(ちょうじょう)	1132~1135	2024/8/11	
86	保延	ほうえん	1135~1141	2024/4/27	
87	永治	えいじ	1141~1142	2024/7/10	
88	康治	こうじ	1142~1144	2024/4/28	
89	天養	てんよう	1144~1145	2024/2/23	
90	久安	きゅうあん	1145~1151	2024/7/22	
91	仁平	にんぺい(にんびょう)	1151~1154	2024/1/26	「にんひょう」「にんへい」とも
92	久寿	きゅうじゅ	1154~1156	#####	
93	保元	ほうげん	1156~1159	2024/4/27	
94	平治	へいじ(びょうじ)	1159~1160	2024/4/20	
95	永暦	えいりやく(ようりやく)	1160~1161	2024/1/10	
96	応保	おうほう	1161~1163	2024/9/4	
97	長寛	ちょうかん	1163~1165	2024/3/29	
98	永万	えいまん(ようまん)	1165~1166	2024/6/5	
99	仁安	にんあん(にんなん)	1166~1169	2024/8/27	

100		嘉応	かおう	1169～1171	2024/4/8	
101		承安	じょうあん(しょうあん)	1171～1175	2024/4/21	
102		安元	あんげん	1175～1177	2024/7/28	
103		治承	じしょう(じじょう)	1177～1181	2024/8/4	
104		養和	ようわ	1181～1182	2024/7/14	
105		寿永	じゅえい	1182～1184	2024/5/27	
106		元暦	げんりやく	1184～1185	2024/4/16	
107		文治	ぶんじ(もんじ)	1185～1190	2024/8/14	
108	鎌倉時代	建久	けんきゅう	1190～1199	2024/4/11	建久3年(1192)源頼朝、鎌倉幕府を開く
109		正治	しょうじ	1199～1201	2024/4/27	
110		建仁	けんにん	1201～1204	2024/2/13	
111		元久	げんきゅう	1204～1206	2024/2/20	
112		建永	けんえい	1206～1207	2024/4/27	
113		承元	じょうげん(しょうげん)	1207～1211	#####	
114		建暦	けんりやく	1211～1213	2024/3/9	
115		建保	けんぼう(けんほう)	1213～1219	2024/12/6	
116		承久	じょうきゅう(しょうきゅう)	1219～1222	2024/4/12	
117		貞応	じょうおう(ていおう)	1222～1224	2024/4/13	
118		元仁	げんにん	1224～1225	#####	
119		嘉禄	かるく	1225～1227	2024/4/20	
120		安貞	あんてい	1227～1229	#####	
121		寛喜	かんき	1229～1232	2024/3/5	
122		貞永	じょうえい(ていえい)	1232～1233	2024/4/2	
123		天福	てんぷく(てんぷく)	1233～1234	2024/4/15	
124		文暦	ぶんりやく(もんりやく)	1234～1235	2024/11/5	「もんれき」とも
125		嘉禎	かてい	1235～1238	2024/9/19	
126		暦仁	りやくにん(れきにん)	1238～1239	#####	
127		延応	えんおう(えんのう)	1239～1240	2024/2/7	
128		仁治	にんじ(にんち)	1240～1243	2024/7/16	
129		寛元	かんげん	1243～1247	2024/2/26	
130		宝治	ほうじ	1247～1249	2024/2/28	
131		建長	けんちょう	1249～1256	2024/3/18	
132		康元	こうげん	1256～1257	2024/10/5	
133		正嘉	しょうか	1257～1259	2024/3/14	
134		正元	しょうげん	1259～1260	2024/3/26	
135		文応	ぶんおう	1260～1261	2024/4/13	
136		弘長	こうちょう	1261～1264	2024/2/20	
137		文永	ぶんえい	1264～1275	2024/2/28	
138		建治	けんじ	1275～1278	2024/4/25	
139		弘安	こうあん	1278～1288	2024/2/29	
140		正応	しょうおう	1288～1293	2024/4/28	
141		永仁	えいにん	1293～1299	2024/8/5	
142		正安	しょうあん	1299～1302	2024/4/25	
143		乾元	けんげん	1302～1303	#####	
144		嘉元	かげん	1303～1306	2024/8/5	
145		徳治	とくじ	1306～1308	#####	
146		延慶	えんきょう(えんぎょう)	1308～1311	2024/10/9	「えんけい」とも
147		応長	おうちょう	1311～1312	2024/4/28	
148		正和	しょうわ	1312～1317	2024/3/20	
149		文保	ぶんぼう(ぶんほう)	1317～1319	2024/2/3	
150		元応	げんおう(げんのう)	1319～1321	2024/4/28	
151		元亨	げんこう	1321～1324	2024/2/23	

152		正中	しょうちゅう	1324~1326	2024/12/9	
153		嘉暦	かりやく	1326~1329	2024/4/26	
154	南北朝時代	元徳	げんとく	1329~1331	2024/8/29	
155	北朝	元徳	げんとく	1329~1332	2024/8/29	
156	南朝	元弘	げんこう	1331~1334	2024/8/9	後醍醐天皇は「元弘」と改元
157	北朝	正慶	しょうきょう(しょうけい)	1332~1334	2024/4/28	光厳天皇は翌年「正慶」と改元
158	南朝	建武	けんむ(けんぶ)	1334~1336	2024/1/29	
159	北朝	建武	けんむ(けんぶ)	1334~1338	2024/1/29	
160	南朝	延元	えんげん	1336~1340	2024/2/29	
161	北朝	暦応	りやくおう(れきおう)	1338~1342	2024/8/28	暦応元年、足利尊氏征夷大將軍に
162	南朝	興国	こうこく	1340~1346	2024/4/28	
163	北朝	康永	こうえい	1342~1345	2024/4/27	
164	北朝	貞和	じょうわ(ていわ)	1345~1350	#####	
165	南朝	正平	しょうへい	1346~1370	2024/12/8	
166	北朝	観応	かんおう(かんのう)	1350~1352	2024/2/27	
167	北朝	文和	ぶんな(ぶんわ)	1352~1356	2024/9/27	
168	北朝	延文	えんぶん	1356~1361	2024/3/28	
169	北朝	康安	こうあん	1361~1362	2024/3/29	
170	北朝	貞治	じょうじ(ていじ)	1362~1368	2024/9/23	
171	北朝	応安	おうあん	1368~1375	2024/2/18	
172	南朝	建徳	けんとく	1370~1372	2024/7/24	
173	南朝	文中	ぶんちゅう	1372~1375	4/?	10/4とか10/24なども
174	南朝	天授	てんじゅ	1375~1381	2024/5/27	
175	北朝	永和	えいわ	1375~1379	2024/2/27	
176	北朝	康暦	こうりやく	1379~1381	2024/3/22	
177	南朝	弘和	こうわ	1381~1384	2024/2/10	
178	北朝	永徳	えいとく	1381~1384	2024/2/24	
179	南朝	元中	げんちゅう	1384~1392	2024/4/28	
180	北朝	至徳	しとく	1384~1387	2024/2/27	
181	北朝	嘉慶	かきょう(かけい)	1387~1389	2024/8/23	
182	北朝	康応	こうおう	1389~1390	2024/2/9	
183	北朝	明德	めいとく	1390~1394	2024/3/26	
184	室町時代	明德に合一		1392~1394		明德3(1392)閏10/5南北朝合一「明德」使用
185		応永	おうえい	1394~1428	2024/7/5	
186		正長	しょうちょう	1428~1429	2024/4/27	
187		永享	えいきょう	1429~1441	2024/9/5	
188		嘉吉	かきつ(かきち)	1441~1444	2024/2/17	
189		文安	ぶんあん	1444~1449	2024/2/5	
190		宝徳	ほうとく	1449~1452	2024/7/28	
191		享徳	きょうとく	1452~1455	2024/7/25	
192		康正	こうしょう	1455~1457	2024/7/25	
193		長祿	ちょうろく	1457~1460	2024/9/28	
194		寛正	かんしょう	1460~1466	#####	
195		文正	ぶんしょう(もんしょう)	1466~1467	2024/2/28	
196		応仁	おうにん	1467~1469	2024/3/5	
197		文明	ぶんめい	1469~1487	2024/4/28	応仁の乱が終わり、戦国時代が始まる
198		長享	ちょうきょう	1487~1489	2024/7/20	
199		延徳	えんとく	1489~1492	2024/8/21	
200		明応	めいおう	1492~1501	2024/7/19	
201		文亀	ぶんき	1501~1504	2024/2/29	
202		永正	えいしょう	1504~1521	2/30	
203		大永	だいえい	1521~1528	2024/8/23	

204		享禄	きょうろく	1528~1532	2024/8/20	
205		天文	てんぶん	1532~1555	2024/7/29	
206		弘治	こうじ	1555~1558	#####	
207		永禄	えいろく	1558~1570	2024/2/28	
208		元亀	げんき	1570~1573	2024/4/23	
209	安土桃山時代	天正	てんしょう	1573~1592	2024/7/28	天正元年(1573)室町幕府滅亡
210		文禄	ぶんろく	1592~1596	2024/12/8	
211		慶長	けいちょう(きょうちょう)	1596~1615	#####	慶長8年(1603)徳川家康が江戸幕府を開く
212	江戸時代	元和	げんな(げんわ)	1615~1624	2024/7/13	慶長16年(1611)加藤清正没
213		寛永	かんえい	1624~1644	2/30	寛永14年(1637)島原の乱. 鎖国(1639)
214		正保	しょうほう	1644~1648	#####	正保2年(1645)宮本武蔵没
215		慶安	けいあん	1648~1652	2024/2/15	
216		承応	じょうおう(しょうおう)	1652~1655	2024/9/18	
217		明暦	めいれき(みょうりやく)	1655~1658	2024/4/13	「めいりやく」とも
218		万治	まんじ	1658~1661	2024/7/23	
219		寛文	かんぶん	1661~1673	2024/4/25	
220		延宝	えんぼう	1673~1681	2024/9/21	
221		天和	てんな	1681~1684	2024/9/29	
222		貞享	じょうきょう	1684~1688	2024/2/21	
223		元禄	げんろく	1688~1704	2024/9/30	
224		宝永	ほうえい	1704~1711	2024/3/13	
225		正徳	しょうとく	1711~1716	2024/4/25	
226		享保	きょうほう(きょうほ)	1716~1736	2024/6/22	享保15年(1730)井沢蟠龍没
227		元文	げんぶん	1736~1741	2024/4/28	ケーニヒスベルグの七つの橋の問題(オイラー)
228		寛保	かんぼう(かんほう)	1741~1744	2024/2/27	
229		延享	えんきょう	1744~1748	2024/2/21	
230		寛延	かんえん	1748~1751	2024/7/12	
231		宝暦	ほうれき(ほうりやく)	1751~1764	#####	
232		明和	めいわ	1764~1772	2024/6/2	
233		安永	あんえい	1772~1781	#####	安永3年(1774)洞口橋
234		天明	てんめい	1781~1789	2024/4/2	
235		寛政	かんせい	1789~1801	2024/1/25	
236		享和	きょうわ	1801~1804	2024/2/5	
237		文化	ぶんか	1804~1818	2024/2/11	文化6年(1809)横井小楠生誕
238		文政	ぶんせい	1818~1830	2024/4/22	文政元年(1818)頼山陽水俣に
239		天保	てんぼう(てんほう)	1830~1844	#####	
240		弘化	こうか	1844~1848	2024/12/2	浪華二十八橋知恵渡(真元算法)
241		嘉永	かえい	1848~1854	2024/2/28	嘉永4年(1851)岩永三五郎没
242		安政	あんせい	1854~1860	#####	嘉永7年(1854)通潤橋
243		万延	まんえん	1860~1861	2024/3/18	
244		文久	ぶんきゅう	1861~1864	2024/2/19	
245		元治	げんじ	1864~1865	2024/2/20	元治元年(1864)宮部鼎蔵没
246		慶応	けいおう	1865~1868	2024/4/7	慶応3年(1867)10月14日大政奉還 同年12月9日王政復古の大号令
247	明治	明治	めいじ	1868~1912	2024/9/8	明治元年は1/1から. 明治6年以降は太陽暦
248	大正	大正	たいしょう	1912~1926	2024/7/30	
249	昭和	昭和	しょうわ	1926~1989	#####	昭和64年は1月7日まで
250	平成	平成	へいせい	1989~2019	2024/1/8	
251	令和	令和	れいわ	2019~	2024/5/1	

年号読みがな検索一覧 制作>熊本国府高等学校パソコン同好会

	年号	よみがな	西 暦	年号	よみがな	西 暦	年号	よみがな	西 暦
あ行	安永	あんえい	1772~1781	元亨	げんこう	1321~1324	長久	ちょうきゅう	1040~1044
	安元	あんげん	1175~1177	元弘	げんこう	1331~1334	長享	ちょうきょう	1487~1489
	安政	あんせい	1854~1860	建治	けんじ	1275~1278	長元	ちょうげん	1028~1037
	安貞	あんてい	1227~1229	元治	げんじ	1864~1865	長治	ちょうじ	1104~1106
	安和	あんな(あ)	968~970	元中	げんちゅう	1384~1392	長承	ちょうしょう(ちょうじょう)	1132~1135
	永延	えいえん(よ)	987~989	建長	けんちょう	1249~1256	長徳	ちょうとく	995~999
	永観	えいかん	983~985	建徳	けんとく	1370~1372	長保	ちょうほう	999~1004
	永久	えいきゅう	1113~1118	元徳	げんとく	1329~1331	長暦	ちょうりやく(ちょうれき)	1037~1040
	永享	えいきょう	1429~1441	元徳	げんとく	1329~1332	長祿	ちょうろく	1457~1460
	永治	えいじ	1141~1142	元和	げんな(げん)	1615~1624	長和	ちょうわ	1012~1017
	永正	えいしょう	1504~1521	建仁	けんにん	1201~1204	天安	てんあん(てんなん)	857~859
	永承	えいしょう(じ)	1046~1053	元仁	げんにん	1224~1225	天永	てんえい	1110~1113
	永祚	えいそ	989~990	元文	げんぶん	1736~1741	天延	てんえん	973~976
	永長	えいちよう(じ)	1096~1097	建保	けんぼう(けん)	1213~1219	天応	てんおう	781~782
	永徳	えいとく	1381~1384	建武	けんむ(けん)	1334~1336	天喜	てんぎ(てんき)	1053~1058
	永仁	えいにん	1293~1299	建武	けんむ(けん)	1334~1338	天慶	てんぎょう(てんきょう)	938~947
	永保	えいほう	1081~1084	建暦	けんりやく	1211~1213	天元	てんげん	978~983
	永万	えいまん(よ)	1165~1166	元暦	げんりやく	1184~1185	天治	てんじ	1124~1126
	永暦	えいりやく(よ)	1160~1161	元祿	げんろく	1688~1704	天授	てんじゆ	1375~1381
	永祿	えいろく	1558~1570	弘安	こうあん	1278~1288	天正	てんしょう	1573~1592
永和	えいわ	1375~1379	康安	こうあん	1361~1362	天承	てんしょう(てんじょう)	1131~1132	
か行	延応	えんおう(え)	1239~1240	康永	こうえい	1342~1345	天長	てんちよう	824~834
	延喜	えんぎ	901~923	康応	こうおう	1389~1390	天徳	てんとく	957~961
	延久	えんきゅう	1069~1074	弘化	こうか	1844~1848	天和	てんな	1681~1684
	延享	えんきょう	1744~1748	康元	こうげん	1256~1257	天仁	てんにん	1108~1110
	延慶	えんきょう(じ)	1308~1311	興国	こうこく	1340~1346	天平	てんぴょう(てんぴょう)	729~749
	延元	えんげん	1336~1340	康治	こうじ	1142~1144	天平感宝	てんぴょうかんぼう	749
	延長	えんちよう	923~931	弘治	こうじ	1555~1558	天平勝宝	てんぴょうしょうぼう	749~757
	延徳	えんとく	1489~1492	康正	こうしょう	1455~1457	天平神護	てんぴょうしんご	765~767
	延文	えんぶん	1356~1361	弘長	こうちよう	1261~1264	天平宝字	てんぴょうほうじ	757~765
	延宝	えんぼう	1673~1681	弘仁	こうにん	810~824	天福	てんぷく(てんぷく)	1233~1234
	延暦	えんりやく	782~806	康平	こうへい	1058~1065	天文	てんぶん	1532~1555
	応安	おうあん	1368~1375	康保	こうほう	964~968	天保	てんぼう(てんぼう)	1830~1844
	応永	おうえい	1394~1428	康暦	こうりやく	1379~1381	天明	てんめい	1781~1789
	応長	おうちよう	1311~1312	康和	こうわ	1099~1104	天養	てんよう	1144~1145
	応徳	おうとく	1084~1087	弘和	こうわ	1381~1384	天曆	てんりやく(てんれき)	947~957
	応仁	おうにん	1467~1468	斎衡	さいこう	854~857	天祿	てんろく	970~973
	応保	おうほう	1161~1163	治安	じあん(ちあん)	1021~1024	徳治	とくじ	1306~1308
	応和	おうわ	961~964	治承	じしょう(じ)	1177~1181	仁安	にんあん(にんなん)	1166~1169
	嘉永	かえい	1848~1854	至徳	しとく	1384~1387	仁治	にんじ(にんち)	1240~1243
	嘉応	かおう	1169~1171	寿永	じゅえい	1182~1184	仁寿	にんじゆ	851~854
嘉吉	かきつ(か)	1441~1444	朱鳥	しゅちょう(し)	686	仁和	にんな(じんな)	885~889	
嘉慶	かきょう(か)	1387~1389	正安	しょうあん	1299~1302	仁平	にんぺい(にんびょう)	1151~1154	
嘉元	かげん	1303~1306	承安	じょうあん(じ)	1171~1175	白雉	はくち	650~654	
嘉祥	かしょう(か)	848~851	貞永	じょうえい(じ)	1232~1233	文安	ぶんあん	1444~1449	
嘉承	かじょう(か)	1106~1108	正応	しょうおう	1288~1293	文永	ぶんえい	1264~1275	
嘉禎	かてい	1235~1238	承応	じょうおう(じ)	1652~1655	文応	ぶんおう	1260~1261	
嘉保	かほう	1094~1096	貞応	じょうおう(じ)	1222~1224	文化	ぶんか	1804~1818	
嘉暦	かりやく	1326~1329	正嘉	しょうか	1257~1259	文龜	ぶんき	1501~1504	

嘉禄	かろく	1225~1227	貞観	じょうがん	859~877	文久	ぶんきゅう	1861~1864
寛永	かんえい	1624~1644	承久	じょうきゅう	1219~1222	文治	ぶんじ(もんじ)	1185~1190
寛延	かんえん	1748~1751	貞享	じょうきょう	1684~1688	文正	ぶんしょう(もんしょう)	1466~1467
観応	かんおう(か)	1350~1352	正慶	しょうきょう	1332~1334	文政	ぶんせい	1818~1830
寛喜	かんき	1229~1232	正元	しょうげん	1259~1260	文中	ぶんちゅう	1372~1375
元慶	がんぎょう	877~885	承元	じょうげん(1)	1207~1211	文和	ぶんな(ぶんわ)	1352~1356
寛元	かんげん	1243~1247	貞元	じょうげん(2)	976~978	文保	ぶんぼう(ぶんほう)	1317~1319
寛弘	かんこう	1004~1012	正治	しょうじ	1199~1201	文明	ぶんめい	1469~1487
寛治	かんじ	1087~1094	貞治	じょうじ(てい)	1362~1368	文暦	ぶんりやく(もんりやく)	1234~1235
寛正	かんしょう	1460~1466	昌泰	しょうたい	898~901	文禄	ぶんろく	1592~1596
寛政	かんせい	1789~1801	正中	しょうちゅう	1324~1326	平治	へいじ(びょうじ)	1159~1160
寛徳	かんとく	1044~1046	正長	しょうちょう	1428~1429	平成	へいせい	1989~2019
寛和	かんな(か)	985~987	正徳	しょうとく	1711~1716	保安	ほうあん	1120~1124
寛仁	かんにん	1017~1021	承德	じょうとく(し)	1097~1099	宝永	ほうえい	1704~1711
寛平	かんびょう	889~898	正平	しょうへい	1346~1370	保延	ほうえん	1135~1141
寛文	かんぶん	1661~1673	承平	じょうへい(1)	931~938	宝亀	ほうき	770~781
寛保	かんぼう(か)	1741~1744	正保	しょうほう	1644~1648	保元	ほうげん	1156~1159
久安	きゅうあん	1145~1151	承保	じょうほう(し)	1074~1077	宝治	ほうじ	1247~1249
久寿	きゅうじゅ	1154~1156	正暦	しょうりやく(く)	990~995	宝徳	ほうとく	1449~1452
享徳	きょうとく	1452~1455	承暦	じょうりやく(く)	1077~1081	宝暦	ほうれき(ほうりやく)	1751~1764
享保	きょうぼう(き)	1716~1736	正和	しょうわ	1312~1317	万延	まんえん	1860~1861
享禄	きょうろく	1528~1532	昭和	しょうわ	1926~1989	万治	まんじ	1658~1661
享和	きょうわ	1801~1804	承和	じょうわ(じ)	834~848	万寿	まんじゅ	1024~1028
慶安	けいあん	1648~1652	貞和	じょうわ(てい)	1345~1350	明応	めいおう	1492~1501
慶雲	けいうん(き)	704~708	治暦	じりやく(ちり)	1065~1069	明治	めいじ	1868~1912
慶応	けいおう	1865~1868	神亀	じんき	724~729	明德	めいとく	1390~1394
慶長	けいちょう(けい)	1596~1615	神護景雲	しんごけい(しん)	767~770	明暦	めいれき(みょうりやく)	1655~1658
建永	けんえい	1206~1207	大永	だいえい	1521~1528	明和	めいわ	1764~1772
元永	げんえい	1118~1120	大化	たいか	645~650	養老	ようろう	717~724
元応	げんおう(げ)	1319~1321	大治	だいち(たい)	1126~1131	養和	ようわ	1181~1182
元龜	げんき	1570~1573	大正	たいしょう	1912~1926	曆応	りやくおう(れきおう)	1338~1342
建久	けんきゅう	1190~1199	大同	だいたう	806~810	曆仁	りやくにん(れきにん)	1238~1239
元久	げんきゅう	1204~1206	大宝	たいほう(た)	701~704	靈龜	れいき	715~717
乾元	けんげん	1302~1303	長寛	ちようかん	1163~1165	令和	れいわ	2019~
						わ行	わどう	708~715

③干支の表 山川詳説日本史図録 第6版 318頁より(一部改変)

干支(かんし) 十干と十二支を組み合わせた六十干支(かんし)で、年月日特定する方法  
 (規則性)一の位が1(11、21等)は十干は必ず甲(きのえ、こう)である。  
 十干と十二支の数の差から、十二支は各段二つずれる。(子は1、13、25、37、49等)

五行	木		火		土		金		水					
兄弟	兄	弟	兄	弟	兄	弟	兄	弟	兄	弟	⑪	⑫	⑬…	……60
十干	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	甲	乙	丙	癸
十二支	こう	おつ	へい	てい	ぼ	き	こう	しん	じん	き	こう	おつ	子…	亥
	ね	うし	とら	う	たつ	み	うま	ひつじ	さる	とり	いぬ	い	ね	

木		火		土		金		水	
兄	弟	兄	弟	兄	弟	兄	弟	兄	弟
甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸
こう	おつ	へい	てい	ぼ	き	こう	しん	じん	き
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
きのえね 甲子 カツ(コウ)シ	きののうし 乙丑 イツチュウ	ひのえとら 丙寅 ヘイイン	ひのどのう 丁卯 テイボウ	つちのえたつ 戊辰 ボシン	つちのどのみ 己巳 キシ	かのえうま 庚午 コウゴ	かのどのひつじ 辛未 シンビ	みずのえさる 壬申 ジンシン	みずのどのとり 癸酉 キユウ
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
きのえいぬ 甲戌 コウジュツ	きののどのい 乙亥 イツガイ	ひのえね 丙子 ヘイシ	ひのどのうし 丁丑 テイチュウ	つちのえとら 戊寅 ボイン	つちのどのう 己卯 キボウ	かのえたつ 庚辰 コウシン	かのどのみ 辛巳 シンシ	みずのえうま 壬午 ジンゴ	みずのどのひつじ 癸未 キビ
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
きのえさる 甲申 コウシン	きののどのとり 乙酉 イツユウ	ひのえいぬ 丙戌 ヘイジュツ	ひのどのい 丁亥 テイガイ	つちのえね 戊子 ボシ	つちのどのうし 己丑 キチュウ	かのえとら 庚寅 コウイン	かのどのう 辛卯 シンボウ	みずのえたつ 壬辰 ジンシン	みずのどのみ 癸巳 キシ
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
きのえうま 甲午 コウゴ	きののどのひつじ 乙未 イツビ	ひのえさる 丙申 ヘイシン	ひのどのとり 丁酉 テイユウ	つちのえいぬ 戊戌 ボジュツ	つちのどのい 己亥 キガイ	かのえね 庚子 コウシ	かのどのうし 辛丑 シンチュウ	みずのえとら 壬寅 ジンイン	みずのどのう 癸卯 キボウ
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
きのえたつ 甲辰 コウシン	きののどのみ 乙巳 イツシ	ひのえうま 丙午 ヘイゴ	ひのどのひつじ 丁未 テイビ	つちのえさる 戊申 ボシン	つちのどのとり 己酉 キユウ	かのえいぬ 庚戌 コウジュツ	かのどのい 辛亥 シンガイ	みずのえね 壬子 ジンシ	みずのどのうし 癸丑 キチュウ
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
きのえとら 甲寅 コウイン	きののどのう 乙卯 イツボウ	ひのえたつ 丙辰 ヘイシン	ひのどのみ 丁巳 テイシ	つちのえうま 戊午 ボゴ	つちのどのひつ 己未 キビ	かのえさる 庚申 コウシン	かのどのとり 辛酉 シンユウ	みずのえいぬ 壬戌 ジンジュツ	みずのどのい 癸亥 キガイ

○西暦→干支

1181年 親鸞出家の年は  
 $1181 \div 60 = 19$  余り41  
 $41 - 3 = 38$  38番目は辛丑(かのとうし)

○干支→西暦

戊辰(ぼしん)戦争は西暦では  
 戊辰は5番目 余りは $5 + 3 = 8$   
 $60 \times ( ) + 8 =$  戊辰の年  
 幕末は19世紀なので、( )は30か31  
 30なら、1808年 31なら1868年

干支表と西暦には「3」のずれがある。

補正のために西暦からは「3」を引き、干支から換算の場合は「3」を足す。

④ 親鸞聖人 略年表 (真宗年表 大谷大学編より抜粋)  
(一部改編)

Ver.2407

1173 承安三年	1歳	この年、親鸞生れる(浄土三経往生文類・尊号実像銘文その他著述識語より年齢逆算)。
1181 養和元年	9歳	親鸞、慈円の坊で出家(伝絵)。
1182 寿永元年	10歳	この年、恵信尼生れる(恵書より逆算)。
1186 文治二年	14歳	法然 大原問答
1198 建久九年	26歳	法然 『選択本願念仏集』を著す
1201 建仁元年	29歳	春に延暦寺を出て、六角堂に百日の参籠「九十五日のあかつき」に聖徳太子の夢告を得て、法然(69)を訪ね百日間通い、法然の門に入る
1204 元久元年	32歳	親鸞、源空の七箇条制誡に「僧綽空」と署名(七ヶ条制裁)。
元久二年 1205	33歳	これ以前、『選択本願念仏集』書写を許される。当日法然それに内題と「南無阿弥陀仏・往生之業念仏為本」「釈綽空」を記す。親鸞、法然の真影を授かり図画。 これまでに、親鸞、夢告により綽空の名を改める。この日、源空、その名を書き与える(教証)。
1207 建永二年	35歳	二月親鸞、越後に流される。法然は土佐に、他6名流罪、4名死罪「承元の法難」承元への改元は十月
建暦元年 1211	39歳	親鸞の息男、信蓮房明信生れる 法然(79)親鸞、赦免。法然は東山大谷へ住す
1212 建暦二年	40歳	1月23日法然『一枚起請文』を著す 1月25日歿(80歳)
1214 健保二年	42歳	この年、親鸞、上野国佐貫で、「三部経」千部読誦を発願、やがて中止して常陸へ行く(恵信尼消息第五通)
1221 承久三年	49歳	承久の乱 後鳥羽上皇(42)は隠岐へ、順徳上皇(25)は佐渡、土御門上皇(27)を土佐へ配流 聖覚『唯心鈔』を著す
元仁元年 1224	52歳	親鸞、この年を末法に入って六八三年と算定し、「教行信証」に記す。(「化身土・本」東二版423) この年、覚信尼誕生
1227 嘉禄三年	55歳	延暦寺衆徒、東山大谷の法然の墳墓を破却「嘉禄の法難」
1230 寛喜二年	58歳	親鸞、「唯信鈔」を書写(専修寺蔵奥)。
1231 寛喜三年	59歳	親鸞発熱して病臥、病床で「大無量寿経」を読み、健保二年(1214)「三部経千部読誦」と「人の執心、自力のころ」について恵信尼(50)に語る。
1234 文暦元年	62歳	この頃帰洛(60,63,64の諸説あり)
1235 嘉禎元年	63歳	この年、如信(親鸞孫、善鸞息男)誕生
1247 宝治元年	75歳	尊蓮、「教行信証」を親鸞自筆本により書写(谷大。龍大蔵奥)。
1248 宝治二年	76歳	親鸞、「浄土和讃」・「高僧和讃」を著わす(専修寺蔵奥)。
1250 建長二年	78歳	親鸞、「唯信鈔文意」を著わす(盛岡本誓寺蔵奥)。
1251 建長三年	79歳	親鸞、書状を書き常陸の「有念無念」の論争を制止する(専修寺蔵書状写・『末灯鈔』第一通)

1252 建長四年	80歳	『入出二門偈頌文』を著す 親鸞、書状を書き関東の「造悪無碍」の風儀を制止(ご消息集広本第一通、『末灯鈔』第二十通)。
	82歳	この年以前、善鸞、東国へ下向する(恵書推定)。 親鸞、「尊号真像銘文」を著わす(略本・福井県法雲寺蔵奥)。 親鸞『浄土文類聚鈔』『浄土三経往生文類』(略本・西本願寺蔵奥)、『愚禿鈔』(存覚写奥)を著わす。
	83歳	親鸞、書状を書き、常陸笠間の門弟の質問に回答する(東本願寺蔵書状・末灯)。 「皇太子聖徳奉讃」を著わす(専修寺蔵奥)。 親鸞、火災にあう(専修寺蔵書状)。 この年、朝円、親鸞の絵像(安城御影)を画く(袖記)。
1256 康元元年	84歳	善鸞に消息を送り義絶、同日消息で義絶を性信(70)に知らせる(5-29) 善鸞義絶状を受け取る(6-27) 『往相回向還相回向文類(如来二種回向文)』を著わす(愛知県上官寺蔵奥)。 親鸞、覚信の書状を入手、返信を書き、覚信の上京をうながす(専修寺蔵書状・末灯)。 親鸞「夜寅時」に夢告「弥陀の本願信ずべし」を受ける。執筆中の「正像末和讃」に夢告を記す(正讃)。 親鸞、「一念多念文意」を著わす(東本願寺蔵奥)。 親鸞、「大日本国粟散王聖徳太子奉讃」を著わす(覚如写奥・真纂)。
1257 正嘉元年	85歳	親鸞、『浄土三経往生文類』(広本)を著す 親鸞、書状を書いて五説・四土・三身について教示する。この頃親鸞の視力よわる(『末燈鈔』第八通) 親鸞、性信に書状を書いて、信心の行者は如来とひとし」と教示する(『善性本』第五通、『血脈文集』第六通、『末灯鈔』第三通)。 親鸞、真仏に書状を書いて、信心の行者は如来とひとし」と教示する(『善性本』第六通) 親鸞、「尊号其像銘文」(広本)を著わす(専修寺蔵奥)。 親鸞、「正像末和讃」を再治・補訂する(専修寺蔵奥)
1258 正嘉二年	86歳	慶信、蓮位に書状を書き、「諸仏等同」について親鸞の所見を求める(専修寺蔵書状)。 蓮位、親鸞の返信に添状を附して慶信に送る。 親鸞、三条富小路善法坊で、顕智に「自然法爾」について語る(専修寺蔵書状・末灯)。
1259 正元元年	87歳	高田の入道、親鸞に書状を書き、覚念の死を通知、親鸞、返信を書き、覚念の死を悼み、門弟の志納に謝する(専修寺蔵書状)。
1260 文応元年	88歳	親鸞、乗信に書状を書き、昨年以来の死者多数を悼み、信心決定者の往生必定を教示する(『末灯鈔』第六通)。
1261 弘長元年	89歳	親鸞、「弥陀如来名号徳」を著わす(長野県正行寺蔵奥)。 恵信尼病臥(恵書)。 この頃まで、恵信尼病臥(恵書)。
1262 弘長二年	90歳	11月下旬、親鸞、押小路南・万里小路東の善法坊で病臥、28日没(伝絵・西本願寺蔵教証奥)。

1262 弘長一十	29日、親鸞を東山に葬送、30日、収骨(西本願寺蔵教証奥)。 12月1日、覚信尼、越後の恵信尼に書状を書き、親鸞の死去を通知する(『恵信尼消息』第三通)。
1263 弘長三年	恵信尼、覚信尼に書状を書き、三部経千部読誦のこと(『恵信尼消息』第五・六通)、親鸞の回心と自らの夢想を伝える(『恵信尼消息第三通』) この年、恵信尼、五重の石塔建立を発願する(恵書)。
1266 文永三年	この頃、恵信尼病臥(恵書)。 この年、唯善生れる(恵書)。
1268 文永五年	恵信尼没(87・推定)。
1270 文永七年	覚如(宗昭)生れる(慕詞・敬詞)。
1273 文永十年	大谷の親鸞の墓を吉水の北に移し、堂を建てて親鸞の影像を安置する(伝絵・専文)。
1274 文永十一年	小野官禅念、大谷北地を覚信尼に譲る(本文)。
1275 建治元年	性信没(89)(報恩寺茶毘塔銘)。 この年、小野官禅念没(専文)。 覚信尼、大谷の地を親鸞の廟地として寄進、券文を下総猿島の常念に渡す(本文)。
1277 建治三年	如信、覚信尼に、びわ女の預状を書く(本文)。 覚信尼、親鸞門弟に廟堂敷地の譲状を書き、教念・顕智に渡す(本文・専文)。

## 5.ご消息分類

東本願寺出版「真宗聖典」第二版に依る

## 掲載通数

## ①種類

A.『親鸞聖人ご消息集』(広本)	18
B.御消息集(善性本)	7
C.『親鸞聖人血脈文集』	6
D.『末燈鈔』	22
E.ご消息拾遺	6
A～Eは、編集年次順による	59

- ・重複しているものとE.『ご消息拾遺』を除くと43通となる
- ・他に『御消息集』(略本)があるが『親鸞聖人ご消息集』(広本)のうち、『末燈鈔』と重複する八通が省略されている。他は全て「広本」に収められている。

## ②内容

## A.『親鸞聖人ご消息集』(広本)

編集者と成立時期は明確ではないが、関東の門弟たちの混乱が伝わってくる。

## B.御消息集(善性本)

善性は関東在住の親鸞の直弟で、親鸞滅後善性が善性に近い人が編集したと思われる。

## C.『親鸞聖人血脈文集』

関東の横曾根門徒を代表する性信宛の消息を中心にまとめられている。

性信に宛てた善鸞義絶状も収められている。

血脈という題名から推察されるように、法然・親鸞の血脈を継いでいることを示していると思われる。

## D.『末燈鈔』正慶二年(1333)四月

本願寺を創建した三代目覚如の次男である従覚が編集した。善鸞事件に関するものは一通も収められていない。

本願寺二代目とされる如信の父が、善鸞であることに配慮されたと思われる。

内題は「本願寺親鸞大師御己証并辺州所々御消息等類聚鈔」と示されており、親鸞の法語を集めるという意図のもとに編集されたと考えられる。

## ③「島地聖典」の『末燈鈔』と東『末燈鈔』との対照

「島地聖典」『末燈鈔』(二一/一～二一/二〇)

島地『末燈鈔』1～18までは東『末燈鈔』の1～18と同じ

島地19は東『末燈鈔』の一九と二〇にあたる

二一/一五LL4「御文度々…」～二一/一七L4「…又々申し候ふべし」=広本三

二一/一七L4「この明教坊の上られて…」～二一/一七L9「…御心得候ふべし」=広本二

二一/一七L9「善知識をおろかに…」～二一/一七LL2「…御心得候ふべし」=広本四

上記、広本三・二・四は『末燈鈔』一九の一通とする。

島地19のうち、二一/一七LL2「方々よりの御志の物共…」～二一/二〇L3「あなかしこ～」=

広本一/東『末燈鈔』二〇

島地20は東『末燈鈔』の二一と二二にあたる

二一/二〇L4「安楽浄土に入り果つれば…」～L9「…あなかしこ」は東『末燈鈔』の二一

島地20・二一/L9「『宝号経』にのたまはく…」～最後の「すなはちこれ母なり」は東『末燈鈔』の二二

## ④「島地聖典」の『親鸞聖人ご消息』(二二/一)と東『親鸞聖人ご消息集』(広本)との対照

島地1 東・広本6 「島地聖典」は『親鸞聖人ご消息集』(広本)の1～5と14～16が抜けている

島地2 東・広本7

島地3 東・広本8

島地4 東・広本9

島地5 東・広本10

島地6 東・広本11

島地7 東・広本11(後半)

島地8 東・広本12

島地9 東・広本13

島地10 東・広本17

島地11 東・広本18

⑥「親鸞聖人のお手紙」資料・順不同 向井孝夫 Ver.2024.07

真宗聖典。第二版	東本願寺出版		
定本 親鸞聖人全集 第三卷 和文・書簡篇	法蔵館		
浄土真宗辞典	本願寺出版社		
親鸞の教化・(シリーズ親鸞五)	筑摩書房	一楽真	いちらく まこと
改訂 歴史の中に見る親鸞	法蔵館」文庫	平 雅行	たいら まさゆき
親鸞聖人ご消息	本願寺出版社	靈山勝海	よしやま しょうかい
親鸞書簡集	法蔵館」	細川行信	ほそかわ ぎょうしん
		村上宗博	むらかみ むねひろ
		足立幸子	あだち ゆきこ
親鸞書簡集	徳間書店	直継信彦 編訳	まつぎ のぶひこ
NHK ころろを読む 妻恵信尼からみた親鸞(上・下)	NHK出版	山崎龍明	やまざき りゅうみょう
(その他)			
現代語訳 親鸞全集 第二集 書簡	講談社		
深層版 現代語訳 親鸞全集4 書簡	法蔵館	直継信彦	まつぎ のぶひこ